Memorial Sloan Kettering Cancer Center

患者様と介護者様のための教育支援

前立腺がん治療のための高線量率（HDR）小線源治療について

本欄での情報は、MSKにおける前立腺に対する高線量率（HDR）小線源治療の準備に役立つものです。

小線源治療を受ける前に、少なくとも一度はこの資料に目を通してください。 治療までの数日間のご参考にしてください。

前立腺について

前立腺はクルミ大の小さくて固い腺です。 体内の他の分泌腺と協力して精液を作ります。

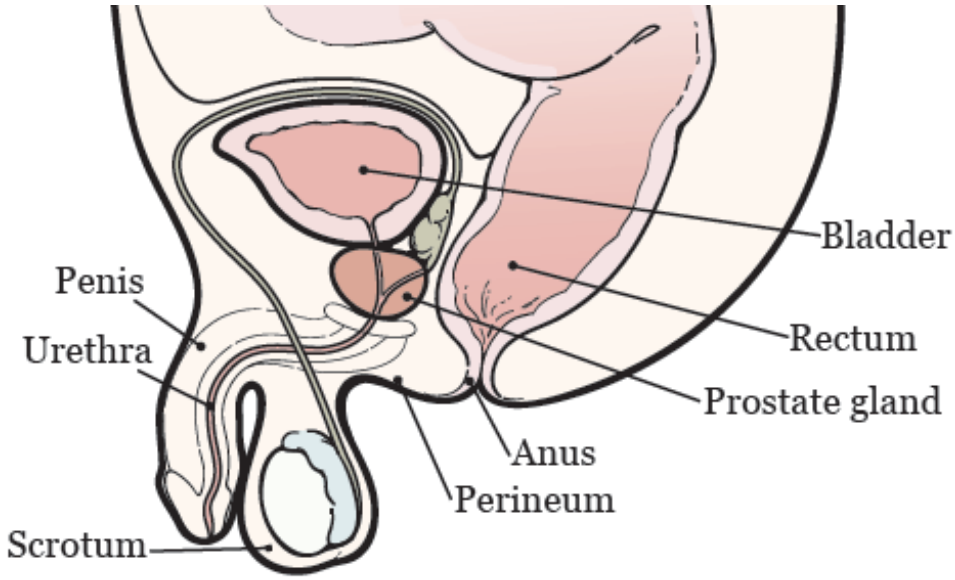


図1 前立腺の解剖学的構造

前立腺は直腸の前、膀胱の下にあります（図1参照）。 膀胱から尿（おしっこ）を排出する管である尿道を囲んでいます。

高線量率（HDR）小線源治療について

小線源治療は放射線療法の一種です。 放射線療法は、がん細胞を増殖しにくくすることで死滅させます。 小線源治療では、放射線源を腫瘍に直接挿入するか、または腫瘍近傍に留置します。

高線量率（HDR）小線源治療では、医療提供者が前立腺に針を刺入します。 これらの針は管に取り付けられ、管から放射線源を前立腺に送り込みます。 治療後、管と針が取り外されます。

HDR治療には次の2つのステップがあります：

1. 前立腺に針を刺入する処置をします。 これは麻酔を施して行われるため、患者さんは眠っている状態になります。
2. それから、フラクションとも呼ばれるHDR治療を受けます。
    - 治療は1回か2回です。 この点については、担当の放射線腫瘍医が初診時に説明してくれます。
    - 最初の治療は、針を刺す処置の直後に手術室で行われます。 2回目の治療が必要な場合は、別の日にまったく同じ方法で行われます。
    - 治療後、針が取り外されます。
    - 治療を受けたその日に帰宅することができます。

放射線腫瘍医があなたのために立てた計画を以下に書き留めてください。

放射線治療チームにおける患者さんの役割

医療従事者チームが一丸となって患者さんのケアを行います。 あなたはそのチームの一員であり、あなたの役割には次があります。

- 予約の時間を守りましょう。
- 質問をし、懸念事項がある場合はその旨を伝えましょう。
- 副作用があるときは、そのように伝えましょう。
- 痛みがあるときは、そのように伝えましょう。
- 次を実行して、自宅でケアを行いましょう。
    - タバコを吸う人は禁煙しましょう。 MSKには、支援する専門家がいます。 タバコ治療プログラムの詳細については、212-610-0507にお電話ください。 また、看護師にこのプログラムについて尋ねることもできます。
    - 指示に基づいて水分摂取をする。
    - 提案された飲食物を取ったり、避けたりする。
    - 体重を安定させましょう。

高線量率（HDR）小線源治療を受ける前に

治療の準備をする

患者さんとケアチームが協力して手術の準備をしていきます。 患者さんの安全を守るため、これらのいずれかに該当する場合は、ご不明な点がある場合など、その旨をお伝えください。

- 私は処方箋薬を服用しています。 処方薬とは、医療機関の処方箋がなければ手に入らない薬のことです。 例としては、以下のようなものがあります。
    - 服用する薬。
    - 注射で服用する薬。
    - 吸い込む（吸入）薬。
    - パッチやクリームで皮膚に貼るあるいは塗る薬。
- 私はパッチやクリームなどの市販薬を使用しています。 市販薬とは、処方箋なしで買える薬のことです。
- 私はハーブ、ビタミン、ミネラル、自然療法や家庭療法などの栄養補助食品を摂っ

ています。

- 私はペースメーカー、自動植込み型除細動器（AICD）、その他の心臓装置を使用しています。
- 私は過去に麻酔による問題が発生したことがあります。 麻酔は、手術や施術の際に眠らせる薬です。
- 私はラテックスを含む特定の薬や素材にアレルギーがあります。
- 私は輸血を希望しません。
- 私はマリファナなどの娯楽用薬物を使用しています。

あなたが服用している薬やサプリメントについて、医療従事者がすべて把握していることを常に確認してください。

あなたが服用している薬やサプリメントによっては、施術前に特別な指示が必要な場合があります。 これらの指示に従わない場合、施術が遅れたりキャンセルされたりすることがあります。

GLP-1ダイエット内服薬

GLP-1薬を服用している場合は、医療従事者にその旨を伝えることが重要です。 手術や処置の前に、食事や飲み物に関する特別な指示に従っていただく必要があるからです。 **これらの指示に従うことは非常に重要です。 これらに従わない場合、手術や処置が遅れるか、または中止になる場合があります。**

- **手術や処置の前日には、透明な液体食を摂取してください。** 固形物は一切食べないでください。 詳細については*Clear Liquid Diet* (www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/clear-liquid-diet)をお読みください。
- **到着予定時刻の8時間前から何も飲まないでください。** この時間以降は、透明な液体を含め、何も食べたり飲んだりしないでください。 お薬は、少量の水と一緒にお飲みください。

詳細については、*Eating and Drinking Before Your Surgery or Procedure When Taking GLP-1 Medicines* (www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/eating-and-drinking-before-your-surgery-or-procedure-when-taking-glp-1-medicines)をお読みください。

GLP-1薬の例をいくつか挙げます。 他にもありますので、ケアチームが患者さまが服用している薬をすべて把握していることを確認してください。 場合によっては、糖尿病やその他の病気の管理を助けるために処方されることがあります。 一方で、減量を目

的として処方されることもあります。

• セマグルチド（ウェゴビー®、オゼンピック®、ライベルサス®） • デュラグルチド（トゥルーリシティ®）	• ティルゼパチド（ゼプバウンド®、ムンジャロ®） • リラグルチド（サクセンダ®、ビクトーザ®）

精子のバンクを検討する

詳しくは*Sperm Banking*(www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/sperm-banking)および*Building Your Family After Cancer Treatment: For People Born With Testicles*(www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/building-family-born-with-testicles)をご覧ください。

飲酒について

ご自身の飲酒量について医療提供者と話し合うことは重要です。 そうすることで、当院が患者さんのケアを計画するのに役立ちます。

アルコールを定期的に飲まれる方は、手術中や手術後に問題が発生するリスクがあります。 このような問題には、出血、感染症、心臓疾患、入院期間の長期化などがあります。

アルコールを定期的に飲んでいて、急に止めると、発作やせん妄を起こしたり、死に至ったりすることがあります。 このような問題のリスクがあることが分かっていれば、予防のための薬を処方することもできます。

問題を起こさないために、手術の前にできることがあります。

- 飲酒量について医療提供者に正直に話す。
- 手術の予定が決まったら、飲酒はなるべく控える。 次に当てはまるものがある場合は、すぐに医療提供者に伝えてください：
    - 頭痛がする。
    - 吐き気を感じる（吐きそうになる）。
    - いつもより不安（緊張や心配）を感じる。
    - 眠れない。

    これらはアルコール離脱の初期症状で、治療が可能です。

- どうしても飲酒を止められない場合は、そのように医療提供者に伝えてください。
- 飲み物や手術については、医療提供者にご質問ください。 患者さんの医療情報は、これまでと同様、すべて非公開です。

喫煙について

タバコを吸ったり、電子タバコを使用したりすると、手術を受けるときに呼吸困難になる可能性があります。 ベイプや電子タバコは電子喫煙装置の一例です。 手術の数日前から中止することで、手術中や手術後の呼吸障害を防ぐのに役立ちます。

タバコを吸われる方には、医療提供者から当院のタバコ治療プログラムが紹介されます。 また、212-610-0507に電話してもお問い合わせすることができます。

睡眠時無呼吸症候群について

睡眠時無呼吸症候群は一般的な呼吸の問題です。 睡眠時無呼吸症候群になると、睡眠中に短時間呼吸が止まります。 最も一般的なものは閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSA）です。 OSAでは、睡眠中に気道が完全にふさがります。

OSAは手術中や手術後に深刻な問題を引き起こす可能性があります。 睡眠時無呼吸症候群をお持ちの方、またはその可能性がある方は、その旨をお知らせください。 CPAP装置などの呼吸装置をご使用の場合は、手術当日にご持参ください。

施術から30日間

手術前検査（PST）

手術の前にPSTの予約をしていただきます。 予約は、対面での診察またはオンライン診察のいずれかとなります。 医療提供者から予約日時、予約場所が記載されたリマインダーが届きます。 駐車場情報とMSKの全拠点への行き方については、www.msk.org/parkingをご覧ください。

予約日当日は、食事をしたりいつもの薬を服用したりすることができます。

予約の際にこれらのものを持参すると便利です：

- 処方薬、市販薬、パッチ、クリームなど、服用しているすべての薬のリスト。
- 過去1年間にMSK以外で行われた医療検査があれば、その結果。 例えば、心臓負荷検査、心エコー図検査、頸動脈ドップラー検査などの結果。

- 医療従事者の名前と電話番号。

PSTの予約の際には、高度実践医療従事者（APP）と面談します。 彼らはMSKの麻酔科のスタッフと緊密に連携しています。 また、手術や処置の際に麻酔を投与するための特別な訓練を受けた医師たちです。

担当のAPPは患者さんの病歴と手術歴を確認します。 患者さんのケアを計画するために、次のような検査を受けるかもしれません：

- 心電図（EKG）で心臓のリズムをチェックする。
- 胸部レントゲン検査。
- 血液検査。

APPは患者さんに他の医療機関の受診を勧めるかもしれません。 さらに、次のようなことも行います：

- 処置当日の朝、どの薬を服用すべきかについて説明する
- 処置前の飲食について説明する

検査前の注意事項（服薬、食事、飲水に関する指示など）は、MSK MyChartアカウントでご確認いただけます：

1. MSK MyChartアカウントにログインしてください。 ホームページで、「Visits（受診）」を選択してください。
2. 「Past（過去）」または「Past visits（過去の受診）」のセクションに移動し、PSTの予約を見つけてください。 「View After Visit Summary（受診後の概要を表示）」を選択してください。
3. 「After Visit Summary（受診後の要約）」に記載されている「Preprocedure Instructions（処置前の注意事項）」の項目をお読みください。

これらの処置前の指示に従うことは非常に重要です。 これらの指示に従わない場合、処置が遅れるか、または取り消される場合があります。

家まで送ってくれる人の手配をする

施術後は、責任ある介護パートナーが自宅まで送ってくれる必要があります。 責任あ

る介護パートナーとは、安全に帰宅するための助けをしてくれる人のことです。 何か心配なことがあれば、看護チームに連絡できるようにしておくべきです。 施術当日までに必ず計画を立ててください。

自宅まで送ってくれる責任ある介護パートナーがいない場合は、下記の機関に連絡してください。 誰か送ってくれる人を手配してくれます。 このサービスは有料で、ご自分で移動手段を用意する必要があります。 タクシーや車のサービスを利用するのもいいのですが、やはり責任ある介護パートナーが一緒でないといけません。

ニューヨーク州の代理店

VNS Health：888-735-8913

Caring People：877-227-4649

ニュージャージー州の代理店

Caring People：877-227-4649

治療後24時間は、自宅で誰かに手伝ってもらうことをお勧めします。

医療委任状の記入

医療委任状をまだ記入していない方は、今すぐご記入されることをお勧めします。 すでに記入されている場合や、その他の事前指示書をお持ちの場合は、次回の診察時にご持参ください。

医療委任状は法的文書です。 もしご自分の意思を伝えることができない場合は、誰がご自身の代弁者になるのかが書かれています。 この人物を医療代理人と言います。

- 医療委任状やその他の事前指示書については、*Advance Care Planning for People With Cancer and Their Loved Ones* (www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/advance-care-planning)をお読みください。
- 医療代理人についての詳細は、*How To Be a Health Care Agent* (www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/how-be-health-care-agent)をお読みください。

医療委任状の記入についてご質問等がある場合は、ケアチームのメンバーにご相談ください。

体を動かす

体を動かすことは、手術のために体をベストな状態にするのに役立ちます。 体を動かすことで回復も早まり、より楽になるでしょう。

毎日、体を動かすように心がけると良いでしょう。 ウォーキング、水泳、サイクリングなど、心臓の鼓動が速くなるような運動なら何でも構いません。 外が寒いときは、家の中で階段を使ったり、モールやショッピングセンターに行くのもいいでしょう。

健康的な食生活を心がける

手術の前には、バランスのとれた健康的な食生活を心がけましょう。 食事療法で助けが必要な場合は、かかりつけの医療機関に臨床栄養士栄養士との面談についてご相談ください。

備品を購入する

医療提供者から使用するように言われた腸管前処置キットを、まだ購入していない場合は購入しましょう。

- ビサコジル（Dulcolax®）5ミリグラム（mg）錠 通常、10錠入りの箱で売られていますが、必要なのは1錠だけです。
- NuLYTELY®溶液とフレーバーパック（チェリー、レモンライム、オレンジ、パイナップル）。 これは1ガロン（128オンス）のボトル入りですが、飲む量は1/2ガロン（64オンス）だけです。 これは、医療提供者が処方してくれます。

また、治療の前日に飲む透明な飲み物を買いだめしておくのもよいでしょう。 購入すべき液体の例については、「清澄流動食にする」のセクションの表をご覧ください。

治療の7日前

アスピリンの服用については、医療機関の指示に従う

アスピリンは出血を引き起こす可能性があります。 アスピリンまたはアスピリンを含む薬を服用している場合は、用量を変更するか、手術の7日前から服用を中止する必要があります。 医療提供者の指示に従いましょう。 **アスピリンの服用を止めるように言われない限り、止めないでください。**

詳細については、*How To Check if a Medicine or Supplement Has Aspirin, Other NSAIDs, Vitamin E, or Fish Oil* (www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/common-medications-containing-aspirin-and-other-nonsteroidal-anti-inflammatory-drugs-nsaids)をお読みください。

ビタミンE、マルチビタミン、ハーブ療法、その他の栄養補助食品の摂取を中止する

ビタミンE、マルチビタミン、ハーブ療法、その他の栄養補助食品は出血の原因になることがあります。 処置の7日前から服用を中止してください。 医療機関から他の指示があった場合は、それに従ってください。

詳細については、*Herbal Remedies and Cancer Treatment*(www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/herbal-remedies-and-treatment)をお読みください。

治療の2日前

非ステロイド性抗炎症薬（NSAID）の服用を中止する

イブプロフェン（アドビル®、モトリン®）やナプロキセン（アリーブ®）などのNSAIDsは、出血を引き起こす可能性があります。 処置の2日前から服用を中止してください。 医療機関から他の指示があった場合は、それに従ってください。

詳細については、*How To Check if a Medicine or Supplement Has Aspirin, Other NSAIDs, Vitamin E, or Fish Oil*(www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/common-medications-containing-aspirin-and-other-nonsteroidal-anti-inflammatory-drugs-nsaids)をお読みください。

治療の1日前

健康状態に変化があった場合、または何らかの理由で治療をキャンセルしなければならない場合は、放射線腫瘍医にご連絡ください。

施術時間にご注意ください

手術前日の午後2時以降に、スタッフからお電話を差し上げます。 施術が月曜日に予定されている場合は、その前の金曜日にお電話を差し上げます。 午後7時までに連絡がない場合は、212-639-5014までお電話ください。

その際、スタッフが手術のために何時に来ればいいかを教えてくれます。 また、どこに行けばいいのかも教えてくれます。

駐車場情報とMSKの全拠点への行き方については、www.msk.org/parkingをご覧ください。

NuLYTELY腸管洗浄液を用意する

治療前日の朝、NuLYTELYにぬるま湯を**ボトルの線の上まで入れます**。 お好みでフレーバーパックを加えます。 NuLYTELYに付属のフレーバーパックのみを使用してくださ

い。

キャップをしたまま、粉末が溶けるまでNuLYTELYが入ったボトルを振ります。 フレーバーパックを使ったとしても、混合液は透明です。 お好みによって、冷蔵庫に入れておくと、冷たい飲み物がお好きな方には便利です。 多くの人が、NuLYTELYは冷やした方がおいしいと言っています。 NuLYTELYは、治療の前日の朝より早くから混ぜないでください。

透明な液体食にする

- 朝食と昼食に固形食を食べることができます。 午後12時（正午）までに昼食を終えるようにしてください。
- 昼食後は、清澄流動食を始めましょう。
  - 透明な液体食とは、透けて見える液体のみを含む食事のことです。 「清澄流動食」の表で例をご紹介しています。
  - 起きている間は、1時間ごとにコップ1杯（8オンス）以上の水分を摂るように心がけましょう。
  - いろいろな種類の透明な液体を飲みましょう。 水やコーヒー、お茶だけではダメです。
  - カフェイン入りの液体を2カップ（16オンス）以上飲まないようにしましょう。
  - 糖尿病であっても、ダイエット飲料は飲まないでください。 飲んでしまうと、脱力感やめまいを引き起こすことがあります。

清澄流動食		
	飲食できるもの	**飲食できないもの**
スープ	• 澄んだスープ、ブイヨン、コンソメ	• 食材や調味料のかけらが入っているものなら何でも
甘味	• Jell-O®などのゼラチン • フレーバーアイス • Life Savers®、レモンドロップ、ペパーミントなどのハードキャンディー	• その他すべての甘いもの

飲料	• 透明なフルーツジュース（レモネード、アップルジュース、クランベリージュース、グレープジュースなど） • 炭酸水*（ジンジャーエール、7-up®、Sprite®、セルツァー炭酸水など） • スポーツドリンク（Gatorade®、Powerade®など） • ブラックコーヒーまたは紅茶（ミルクやクリーマーは入れないでください） • 炭酸水（発泡性）やフレーバーウォーターを含む水 • 透明な栄養補助食品（ Boost® Breeze、Ensure Clear™、Pedialyte®、Diabetishield®）	• 果肉入りジュース • ネクター • スムージーやシェイク • 牛乳、クリーム、その他の乳製品 • ナッツミルク、植物性ミルク、非乳製品クリーマー、その他の乳製品代替品 • アルコール入りの飲み物

ビサコジル錠を服用する

治療日前日の午後1時に、ビサコジル1錠を水と一緒に飲みます。

NyLYTELY腸管洗浄液を飲む

治療前日の午後3時に、NuLYTELYを飲み始めます。 混合液コップ1杯（8オンス）を15分おきに飲みます。 **NuLYTELY溶液の半分（64オンス）だけを飲みます。 残りの半分は捨てましょう。** それから、透明な液体を飲み続けます。

NuLYTELYは頻繁に便意を催しますので、飲み始めたあとは必ずトイレの近くにいるとよいでしょう。 また、刺激を防ぐには、排便のたびにワセリンやA&D®軟膏を肛門の周りの皮膚に塗るとよいでしょう。

治療の前夜

- 治療の前夜には、医療提供者から指示された薬を服用します。 少量の水と一緒に飲とよいでしょう。
- 引き続き、清澄流動食を続けてください。
- 治療の前夜か当日の朝に、石鹸とぬるま湯でシャワーを浴びましょう。

施術の当日

飲み物について

重要：GLP-1薬を服用している場合は、これらの指示に従わないでください。 代わりに、*Eating and Drinking Before Your Surgery or Procedure When Taking GLP-1 Medicines* (www.mskcc.org/cancer-care/patient-education/eating-and-drinking-before-your-surgery-or-procedure-when-taking-glp-1-medicines)の指示に従ってください。

深夜（午前0時）から到着時刻の2時間前までは、以下のリストにある水分のみを摂取することができます。 それ以外のものは食べたり飲んだりしないでください。 到着予定時刻の2時間前から何も飲まないでください。

- 水。
- 透明なアップルジュース、透明なグレープジュース、透明なクランベリージュース。
- GatoradeまたはPowerade。
- ブラックコーヒーまたはストレートティー。 砂糖は加えても構いません。 他には何も加えないでください。
  - 牛乳やクリーマーは一切加えないでください。 これには植物性ミルクやクリーマーも含まれます。
  - フレーバーシロップは加えないでください。

糖尿病の方は、飲み物に含まれる砂糖の量にご注意ください。 砂糖不使用、低糖質、砂糖無添加の飲み物を取り入れると、血糖値をコントロールしやすくなります。

手術または処置の前に水分を補給しておくことは有効なので、のどが渇いたら飲んでください。 必要以上に飲まないでください。 手術や処置の間は点滴が行われます。



到着予定時刻の2時間前から何も飲まないでください。 これには水も含まれます。

禁酒のタイミングについては、医療提供者から別の指示があるかもしれません。 指示があった場合は、その指示に従いましょう。

指示通りに薬を服用する

治療当日の朝、医療提供者から指示された薬を服用します。 少量の水と一緒に飲とよいでしょう。

留意事項

- 治療の前夜にシャワーを浴びなかった場合は、治療当日の朝にシャワーを浴びましょう。
- ローション、クリーム、デオドラント、パウダー、コロンなどはつけないでください。
- ゆったりとした動きやすい衣服を着用しましょう。
- 金属製のものは身につけないでください。 ピアスを含むすべての宝飾品は外してください。 治療の際に使用する器具が金属に触れると、やけどをすることがあります。
- 貴重品（クレジットカード、宝石類、小切手帳など）は家に置いていきましょう。
- コンタクトをしている方は、代わりにメガネをかけてください。 メガネをお持ちでない方は、コンタクト用のケースをご持参ください。

病院に着いたら

スタッフが、患者さんの名前と生年月日を述べるように、また、その正しいスペルについて尋ねます。 これは患者さんの安全のためです。 同じ名前、あるいは似た名前の人が同じ日に治療を受けるかもしれないからです。

治療のために着替える時には、病院用のガウン、ローブ、滑り止めのついた靴下が渡されます。

看護師と面談する

治療の前に看護師と面談します。 真夜中以降に服用した薬の量と服用時間を伝えます。 その際には、処方薬や市販薬、パッチ、クリームなどについても必ず伝えてください。 入れ歯や補聴器をつけている場合は、その旨を看護師に伝えます。 それらは、治療の前に外しておく必要があります。

看護師は、通常、腕か手の静脈に静脈（IV）ラインを留置します。 看護師が点滴をしない場合は、麻酔科医が処置室で行います。

治療中

治療の時間になったら、手術室に歩いて入るか、ストレッチャーで運ばれます。 手術室チームのメンバーが、手術ベッドに移乗するお手伝いをします。 下腿にコンプレッションブーツを装着します。 コンプレッションブーツは、下腿の血流を助けるためにゆっくりと膨らんだり縮んだりします。

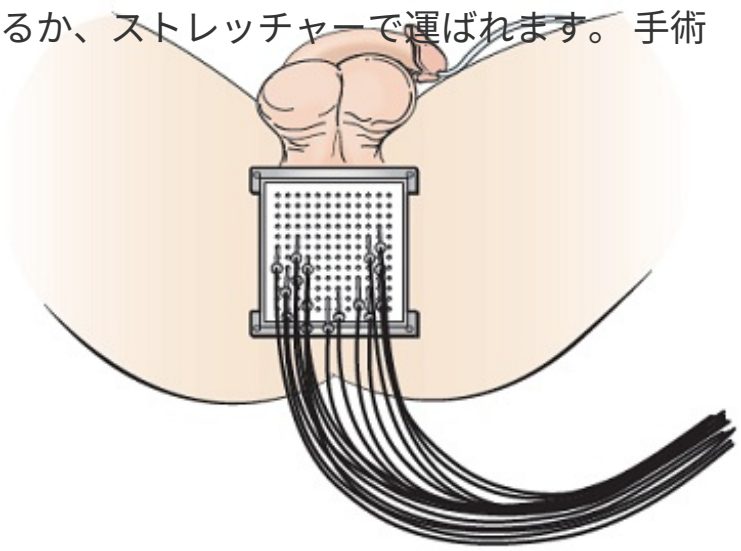


図2 カテーテル付きテンプレート

リラックスしたら、麻酔科医が点滴ラインから麻酔を行い、眠りにつきます。 また、治療中と治療後には、点滴ラインから水分を補給します。

完全に眠りについた後、呼吸を助けるための管を口から気管に入れます。 また、膀胱から尿を排出するために尿道（フォーリー）カテーテルを留置します。

尿道（フォーリー）カテーテルを留置した後、医療提供者は直腸超音波検査で前立腺を確認します。 会陰部（陰嚢と肛門の間の皮膚部分）の皮膚を貫いて前立腺へ12～22本の細い針を挿入します。 針は、正方形の金属製テンプレートを通して、前立腺とその周辺の正確な位置に誘導されます。 テンプレートは会陰部に当てます（図2参照）。

治療中

治療では、前立腺の針に管をつないで放射線を照射します。 管はプラスチック製の長いストローのような形をしています（図2参照）。 ケーブルは放射源（イリジウム192）を保管する機械に接続されています。

適切な量の放射線が前立腺に照射された後、管が外され、治療が終了します。

治療が終了した後、針が前立腺から外されます。 看護師が会陰部を圧迫し、出血を抑えるために氷嚢を当てます。 麻酔から覚める前に、尿道（フォーリー）カテーテルと呼吸管が外されます。

高線量率（HDR）小線源治療を受けた後に

病院内

麻酔後治療室（PACU）で目覚めます。 看護師が体温、脈拍、血圧、酸素濃度を記録し

ます。 まれに、膀胱に尿道（フォーリー）カテーテルを留置し、尿量を管理する場合もあります。

治療の後、痛みを感じることがあるかもしれません。 医療提供者が、痛みについて頻繁に尋ねるでしょう。 必要に応じて痛み止めの薬が処方されます。 痛みが治まらないときは、担当医か医療提供者に相談してください。

ほとんどの患者さんは、処置や治療を受けたその日のうちに帰宅します。 カテーテルを抜いた後は、退院するまでに自力で排尿できるようになる必要があります。

治療が終了した後は、放射性物質で汚染されていないので、放射線に関する注意事項を守る必要はありません。

自宅

服用する薬

- 前立腺に放射線を照射すると、頻尿や尿意切迫感（尿の回数が増えたり、急に尿意を感じたりすること）が起こることがよくあります。 このような副作用に対処するには、タムスロシン（Flomax®）、シロドシン（Rapaflo®）、アルフゾシン（Uroxatral®）など、すべての泌尿器系薬剤を処方通りに服用し続けることです。 これらの薬が自宅にない場合は、医療提供者に伝えてください。
- 治療後、排尿時にほてりを感じることがあります。 これは、膀胱に留置された尿道（フォーリー）カテーテルによるものです。 フェナゾピリジン（Pyridium®）と呼ばれるほてりを抑える薬が処方されます。

その他の注意事項

- まれに、針が刺さった会陰部から出血することがあります。 このような場合は、清潔な乾いた洗濯バサミかガーゼで5分間圧迫してください。 出血が多くなったり、止まらない場合は、医療機関に連絡してください。
- 通常の食事を再開することができます。 膀胱を刺激するようなものは避けた方がいいかもしれません。 それは、カフェイン（コーヒーや紅茶など）、アルコール、柑橘系ジュース、辛い食べ物などです。
- 退院後はシャワーを浴びることができます。
- 治療後少なくとも1週間は、20ポンド（9.1キログラム）以上のものを持ち上げない

でください。

- ほとんどの患者さんは治療の2日後には仕事に復帰できます。 重いものを持ち上げる仕事がある場合は、いつから仕事に復帰できるかを医療提供者に尋ねてください。

前立腺癌に対する高線量率（HDR）小線源治療の副作用

泌尿器系の症状

小線源治療の最も一般的な副作用は、泌尿器系の症状です。 治療の後、以下のような症状が出ることがあります。

- 人によっては、治療後に排尿できなかったり、一度に数滴しか排尿できなかったりします。 **これは緊急事態です。** 尿が出ない場合は、すぐに医療機関にご連絡ください。
- 排尿の回数がいつもより多くなり、1時間に1回以上になることもあります。 これは通常、治療の2〜4週間後から始まり、数ヶ月またはそれ以上続くことがあります。
- 排尿時にほてりを感じることがあります。 これは通常、治療の2〜4週間後から始まり、約4〜12ヵ月間続きます。
- 尿に血液が混じり、ピンク色に見えることがあります。 これはよくあることで、通常、治療後3〜7日間でなくなります。 出血が7日以上続く場合、または尿に血の塊が混じる場合は、医療機関にご連絡ください。
- 陰嚢、睾丸、陰茎の周りにあざができたり、腫れたりすることがあります。 これは治療後1〜2週間で治まるはずです。 2週間後もあざがある場合は、医療機関にご連絡ください。

このような症状がある場合は、医療提供者にご相談ください。 膀胱を調べる処置（膀胱鏡検査など）を予定している場合は、医療提供者と相談してからにしましょう。

痛み

治療後1〜2日は軽い痛みがあるかもしれません。 アセトアミノフェン（Tylenol®）、イブプロフェン（Advil®）、ナプロキセン（Aleve®）などの市販の鎮痛薬を服用することで、痛みを和らげることができます。 それでも痛みがとれない場合は、医療機関にご

連絡ください。

性的健康

がんやがん治療がどのように性生活に影響するか、心配されていらっしゃるかもしれません。 治療後は、あなたは放射能に汚染されていません。 放射能を他の人にうつしたりすることはありません。 ですから、他の人たちと密接な接触をしても安全です。

放射線腫瘍医から他の指示がない限り、高線量率（HDR）小線源治療後も性行為は可能です。 ただし、妊娠可能な相手と性行為がある場合は、前立腺がんの治療期間中、妊娠を防ぐために避妊（避妊）をしなければなりません。 治療終了後1年間は避妊を続ける必要があります。 これは、放射線被曝によって損傷した可能性のある精子で妊娠しないようにするためであり、先天性欠損症を引き起こす可能性があります。

陰茎の頭に一時的または永続的なしびれが生じることがありますが、これはまれです。

また、治療後に性的変化を生じることもあります。 次を経験されるかもしれません。

- 勃起不全（勃起が困難または維持できない）
- オーガズムの感覚に変化がある
- 射精の量や硬さに変化がある

このような性的変化は、治療後何ヵ月も、あるいは何年も経ってから起こることもあります。

勃起不全には治療法があります。 MSKには男性の性と生殖医療プログラムがあり、病気や治療が性的健康に及ぼす影響に対処するための支援を行っています。 治療の前、治療中、治療の後に専門家と会うことができます。 担当の医療提供者は紹介状を出すことができます。または、予約を取る場合は、646-888-6024までお電話ください。

米国がん協会では、がん治療中の性の健康問題についての資料も用意しています。 www.cancer.org/cancer/side-effects/sexual-side-effectsのウェブサイトをご覧いただくか、800-227-2345までお電話いただき、印刷版の資料を請求することもできます。

サポートサービス

MSKサポートサービス

詳細については、MSKのウェブサイトwww.msk.org/typesの「Cancer Types（がんの種類）」セクションを参照してください。

Admitting Office（受付事務室）
212-639-7606
個室のご希望など、入院に関するご質問等がある場合は、お電話ください。

Anesthesia（麻酔科）
212-639-6840
麻酔についてご質問等がある場合は、お電話ください。

Integrative Medicine and Wellness Service（統合医療・ウェルネス・サービス）
www.msk.org/integrativemedicine
統合医療・ウェルネス・サービスでは、従来の医療を補完（併用）するさまざまなサービスを提供しています。 例えば、当施設では、音楽療法、心身療法、ダンス・ムーブメント療法、ヨガ、タッチセラピーなどを提供しています。 これらのサービスのご予約は646-449-1010までお電話ください。

また、統合医療とウェルネス・サービスにおける医療提供者との相談を予約することもできます。 健康的なライフスタイルを築き、副作用を管理するための計画を一緒に考えてくれます。 カウンセリングのご予約は646-608-8550までお電話ください。

Male Sexual and Reproductive Medicine Program（男性の性と生殖医療プログラム）
646-888-6024
がんやがん治療は、性の健康や生殖能力、またはその両方に影響を及ぼす可能性があります。 当クリニックのMale Sexual & Reproductive Medicine Program（男性の性と生殖医療プログラム）は、勃起不全（ED）などの性的健康問題をサポートします。 治療の前、治療中、治療の後を問わず、お手伝いいたします。 お問い合わせ、ご予約はお電話でお願いいたします。

Nutrition Services（栄養サービス）
www.msk.org/nutrition
212-639-7312
当院の栄養サービスでは、臨床管理栄養士による栄養相談を提供しています。 臨床栄養士が、患者さんの食習慣についてお話を伺います。 また、治療中や治療後の食事についてもアドバイスしてもらえます。 ケアチームのメンバーに紹介状を依頼するか、

上記の電話番号にお電話してご予約ください。

Patient and Caregiver Education（患者と地域のための教育支援）
www.msk.org/pe
当院の患者・地域向け教育ウェブサイトをご覧いただき、教育資料、動画、オンラインプログラムを検索してください。

Patient Billing（患者様への請求）
646-227-3378
保険会社の事前承認についてご質問等がある場合は、お電話ください。 これは事前承諾とも呼ばれます。

Patient Representative Office（患者相談窓口）
212-639-7202
医療代理人指定書（Health Care Proxy）の書式についてご質問がある場合や、受けている医療ケアについてご心配な点がある場合は、お電話ください。

Perioperative Nurse Liaison（周術期看護連絡担当者）
212-639-5935
手術中にMSKが情報を公開することについてご質問等がある場合は、お電話ください。

Private Duty Nurses and Companions（個人契約の看護師および付き添い看護者）
646-357-9272
病院やご自宅でのケアを受けるために、個人契約の看護師や付き添い看護者を依頼することができます。 詳細についてはお電話でお問い合わせください。

医療従事者に連絡すべき場合

以下の場合は、医療提供者に連絡してください。

- 泌尿器系の症状が新たに現れたり、悪化したりする。
- 排尿が困難。
- 尿に血の塊が混じる。
- 38° C（100.4° F）以上の発熱
- 鎮痛剤を飲んでも痛みがよくならない。

連絡先

ご質問や心配事がある方は、放射線治療チームのメンバーにご相談ください。 以下の電話番号までご連絡ください。

放射線腫瘍医：_____
電話番号：_____

放射線看護師：_____
電話番号：_____

ケアチームのメンバーが月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで対応します。診療時間外の場合は、メッセージを残すか、他のMSK医療機関にご相談ください。 医師か看護師が常時、待機しています。 かかりつけの医療提供者への連絡方法がわからない場合は、212-639-2000にお電話ください。

更なる資料については、www.mskcc.org/peにアクセスして、仮想図書館で検索してください。

著作権所有者 Memorial Sloan Kettering Cancer Centerにより、無断転載は禁じられています。